

国鉄労働組合 北陸地方本部
 (NTT)076-231-1506 (FAX)076-231-1114 (JR)065-2393
 (Mail)nru-hk@m2.spacelan.ne.jp
 発行人 藤野 能章
 編集人 山田 輝男

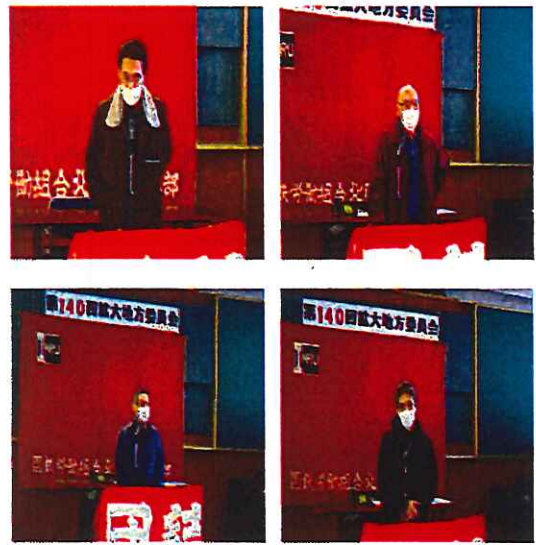
**2024 春闘 17,000 円の賃上げ獲得と諸要求実現にむけ
 職場から運動を闘う方針を採択!**

第140回北陸地方委員会開催

2月17日、石川県平和と労働会館にて第140回北陸地方委員会を開催し、2024年春闘をはじめとする闘争方針を採択しました。

委員会議長に福井県支部の森川委員が選出され、以後の議事を進めました。

初めに国労北陸地本を代表して藤野委員長が挨拶し、「甚大な被害をもたらした能登半島地震に対して、組合員も被害に遭ったが改めてお見舞いとお悔やみを申し上げます。原発の危険性も新たにうきぼりになった。地震発生時多くの列車が停車していた、幸い乗客へ人命に関わる事象は無かったが、会社の対応について検証することは必要である。また、翌1月2日には、羽田空港で旅客機と自衛隊の輸送機が衝突という衝撃的な事故が発生した。379名の乗客は一人の犠牲者も出さなかった。マニュアルでしか動けない」



Rに置き換えるようになっていたか。新幹線延伸まで残りわずかとなったが更なる団結を。腐敗した政治を打破し、明るい未来に向けて団結して頑張ろう」とあいさつしました。来賓として参加した大北西日本本部書記長は、「中央委員会および西日本本部会では、17,000円の賃上げと重点要求の解決に向け確認をしてきた。職場で見える行動を意識して、組織拡大を全組合員で取り組んで行く」とあいさつしました。



各委員からは、貨物会社は赤字決算により、社員への犠牲の押しつけが今年も心配されるが、社長へのメッセージ葉書の取組みは、他組合員も協力してくれる。城端・氷見線のあいの風とやま鉄道への移行は、2029年と具体的になってきた。行動を起こしていきたい。

白山基地は会社の事はもとより政治的な事にせよ、行動することについても上司に言うてからと、何も言えない職場になってきている。会社からもメールばかりの情報連絡である。

ハピラインふくいへの出向者が多く、今後の支部・分会の活動にも影響が出るだろう。

春闘勝利 217 総決起集会も同時開催

委員会終了後、春闘勝利総決起集会を開催し、最後に藤野委員長の音頭で「団結ガンバロー」を行いました。

